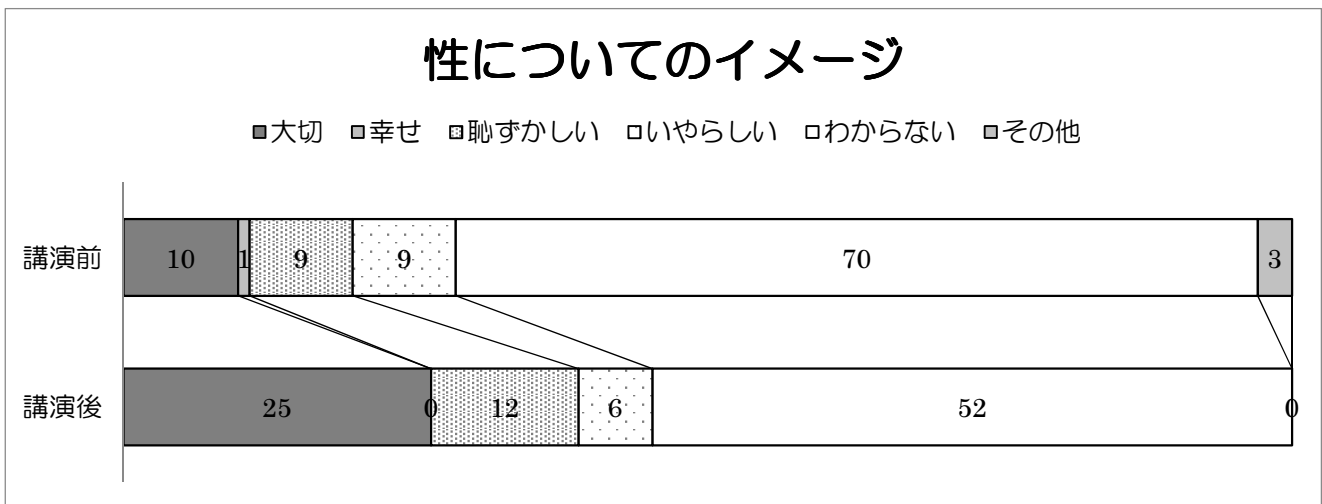




9月28日(木)に1年生を対象として思春期教室を実施しました。岐阜大学医学部附属病院の助産師と看護師を講師とし、「命の大切さ」についての授業を行いました。命の誕生や思春期の身体と心の成長、異性に対する気持ちの違いなどを学びました。また、相手の気持ちを考えること、自分の気持ちを相手に伝えることの大切さについても学び合うことができました。



生徒の意識調査の結果から、講演の前と後では、意識にも変化があり、自分や他人の性(命)が大切であると感じることができました。この時間を通して、「思春期に大切なこと」について考えることができました。これからも今の気持ちを忘れずに、相手の気持ちをよく考えて行動できる人になってほしいと思います。悩んだとき、困ったときはいつでも保健室に相談にきてください。



<生徒の感想より>

- ・思春期教室をするまでは異性の気持ちをしっかりと考えたことがなかったけれど、男女の考え方は全く違うと聞いて、これからはちゃんと相手の気持ちも考えて話したいと思いました。
- ・性についてとても恥ずかしいと思っていたけれど、話を聞いた後は、とても大切なんだと感じました。
- ・自分がどれほど大切だということがよく分かり、親に感謝したいと思いました。前よりなんとなく自分の存在を大切に感じることができました。
- ・大切に守られていた自分の命をこれからも大切にしていきたいです。